

株式会社ビーエスFOX
第9回放送番組審議委員会議事録

1. 開催日 : 平成28年5月24日(火)12:30~14:00
2. 開催場所 : 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア16F
3. 委員の出席 : 委員総数 7名 / 出席委員数 7名

出席委員(敬称略): 菊地 実、坂井 保之、曾根 和子、田保橋 淳、
鳥居 美砂、浅井 正義、阿部 清美

放送事業者側出席者氏名 :
ビーエスFOX 取締役 眞島 大介
ビーエスFOX 監査役 杉田 真太郎
マーケティング部 部長 岸本 裕子
編成部 部長 伊藤 由起
編成部 鈴木 香都喜
編成部 後藤 圭介
事務局 岩崎 壮一
事務局 橋本 佳奈(記)

4. 議題:

- (1) 株式会社ビーエスFOXの放送事業概況および運営チャンネル概況の説明
- (2) ナショナル ジオグラフィック チャンネル『大宇宙(おおぞら)へ翔ける~油井亀美也とJAXA、新しい時代へ~』についての番組審議
- (3) FOXスポーツ&エンターテインメント『インサイドホークス「打撃論」&「捕手論」』についての番組審議

5. 審議内容:

(1)株式会社ビーエスFOXの放送事業の概況および運営チャンネルの概況について

(2)ナショナル ジオグラフィック チャンネル番組審議

2016年6月に放送予定の『大宇宙(おおぞら)へ翔ける~油井亀美也とJAXA、新しい時代へ~』
をご審議頂きたい。

<委員の意見>

・日本人の真面目さをよく描いており見ている心地よい、日本人の心をくすぐる内容。何となくチャンネルを回していても思わず手を止めて見入ってしまう番組。

- ・課外授業の教材として小学校や中学校などにアピールしても良いのではないか。
- ・「Japan Space Challenge」という原題が良い。邦題にも「日本」という単語を残してほしかった。
- ・日本人として誇らしい内容で、元気づけられる番組。
- ・字幕の日本語も分かりやすく、英語を学ぶ教材としても優れている。
- ・以前放送していた若田光一さんの番組と合わせて、特別編成しても良いと思う。
- ・自主制作ということで、ナショジオらしさを残しつつ、日本人にわかりやすいように丁寧に作られている。
- ・テンポよく作られているが、もっとじっくり見たい部分もあった。もっと長い尺のバージョンも作ってもよいのではないか。
- ・自主制作番組だというアピールをもっと積極的に行うべき。
- ・最初から最後までのもりこめる。番組の締めである火星探査の話題も子供たちに夢を与える内容で良かった。
- ・自主制作という点を高く評価できる番組。今後、有人衛星以外のテーマも是非扱ってほしい。シリーズ化しても良いと思う。
- ・JAXAを持ち上げすぎな感もあるが、これまでの宇宙開発の歩みをよくまとめており、新しい発見も多い番組だった。

<事業者回答>

今回の番組は日本での自主制作だが、地上波のドキュメンタリーとは違うテンポの良さ、ナショジオらしさを活かしたものとするため、外国人のスタッフがディレクターとして参加した。宇宙は視聴者の関心も高いテーマであり、今後も色々な施策を検討している。いただいたご意見も参考の上展開していきたい。

(3)FOX スポーツ&エンターテイメント番組審議

2016年1月放送の『インサイドホークス「打撃論」&「捕手論」』をご審議頂きたい。

<委員の意見>

- ・背景が暗いのが気になった。終始淡々としており動きが少ないので、映像のインサートがもっとほしい。
- ・野球のコアファンにとっては興味深い内容だと察するが、それほど知識がない視聴者にとっては内容が専門的すぎてついていけない。
- ・番組が始まって15分間も映像が出てこないのは、エンターテイメント番組としては疑問。
- ・ホスト側の話の引き出し方が巧み。出演者のトークが非常に上手いので、演出次第でもっと活きる素材なのではないかと思った。
- ・暗い照明は演出上意図されたもので、非常に工夫されていたと思う。

- ・話がさらさらと進んでしまって勿体無い、もっとつっこみの要素がほしかった。
- ・最終的に野球の面白さを伝えることが狙いだとすれば、見せ方にもっと工夫がほしい。
- ・技術論にとどまらず、精神論や人間関係の話もあり、野球は詳しくないが大変面白かった。
- ・インサートの多い番組構成、明るいスタジオ照明だと、スポーツニュースのような雰囲気になってしまうので、今回の演出・ライティングは良かったと思う。
- ・よくぞチャレンジしたなという番組。本当は明かしてはいけない領域のテーマにも切り込んでおり、非常にリスキーだったと思うが、出演者がさすがの受け答えだった。

<事業者回答>

頂いたご意見を今後の番組制作、編成に活かしていきたい。オフシーズンにもプロ野球を楽しんで頂く、球団や選手をもっと知って頂く番組企画を検討していく。

以上